

羊放牧等による白山麓地域活性化の取り組み

石川農林総合事務所

当事務所と石川県立大学は、平成26年度から白山市^{きなめり}木滑地区でモデル的に休耕田を利用した羊放牧に取り組み、高温で雨が多い北陸地域でも羊の飼養が可能であることを実証しました。

平成28年度には地元有志を中心に「白山麓羊推進協議会」が設立され、羊放牧による耕作放棄地の解消や木滑産ラム肉を生産するなどの成果を上げていましたが、協議会メンバーの高齢化等により組織の存続が困難となり、新たな担い手を模索していました。

そんな折、里山地域を中心に生産活動を行っている地元の農業法人が羊生産に興味を示していたことから、当事務所が協議会と農業法人の意向を確認しながら事業継承に対する支援を行った結果、令和2年度から農業法人が羊事業を継承することが決定しました。

同法人は平成30年の設立当初から、ジビエ、野生動物の調査、山菜生産などに取り組んでおり、現在は菌床なめこ生産、エコツーリズムなど地域資源に着目した生業の創出など様々なジャンルの活動を行っています。法人には羊の飼養のノウハウが無かったことから、今回の羊事業の継承・展開にあたっては、当事務所と県立大学が連携して飼養計画を策定し、繁殖及び肥育技術の習得に向けた支援を行った結果、農業法人の生産技術が向上し、今春生まれた羊も出荷に向けてすくすくと成育しています。

また、令和3年5月には猪肉などのジビエと自社栽培のなめこで作ったジビエ丼などを提供する食堂の開店を計画するなど、里山地域の新たな賑わい拠点を目指しており、当事務所では、過疎高齢化の進む白山麓の活性化を図るため、今後も引き続き里山の特性を活かした生業創出活動を積極的に支援していきます。



羊の体重測定の様子



菌床なめこの栽培

問い合わせ先：農業振興部（076-276-0371）